

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	地域分析	講義時間	10 コマ
講 師	大江 守之 放送大学客員教授				

※1コマ70分

講義のねらい

国勢調査データを用いて、地域の実態を分析する各種手法を習得するとともに、地域の将来を推計する方法についても学ぶ。国勢調査は、全数調査（悉皆調査）であることによって様々なスケール（全国、都道府県、市町村、町丁、基本単位区）で利用でき、また1920年からデータが蓄積されていることによって、長期にわたる地域の変化の分析やコーホートによる分析が可能であるという特徴を有している。これらの特徴を活かした分析方法を身につけ、地域を分析する面白さを体験するとともに、わが国の地域構造に関する基本的認識を身につけてほしい。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
1. 地域概念	地域を理解するための基本的概念について解説する。
2. 地域構造（1）	地域分析の中心的テーマは地域構造を明らかにすることであり。そのなかで最も基本的なものは総人口の分布である。ここでは総人口の分布の測度について解説するとともに、分析結果から見える地域構造の変化について考える。
3. 地域構造（2）	地域構造は人口構造の一つの側面であるが、同時に人口構造には社会的構造（世帯構造など）、経済的構造（就業構造など）、文化的構造（国籍構造など）があり、これらの地域的差異もまた地域構造として捉えられる。ここでは各種人口構造とその地域的差異について解説する。
4. 人口移動	地域構造の変化は、出生・死亡（自然動態）と移動（社会動態）とによって引き起こされる。一般に前者よりも後者の方が大きな影響を与えることが知られている。ここでは移動の全般的傾向、移動傾向の変化、移動理由、高齢者の移動などについて解説する。
5. 地域人口推計	地域人口推計手法について解説する。また、最も簡易なコーホート変化率法を用いて人口推計を行う演習に取り組む。

講義形態 指導方法	講義、演習
受講に必要な 基礎知識等	エクセルの操作